

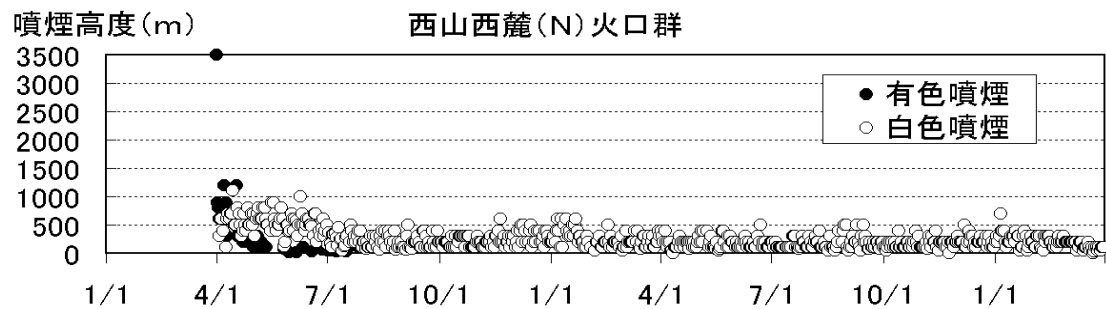
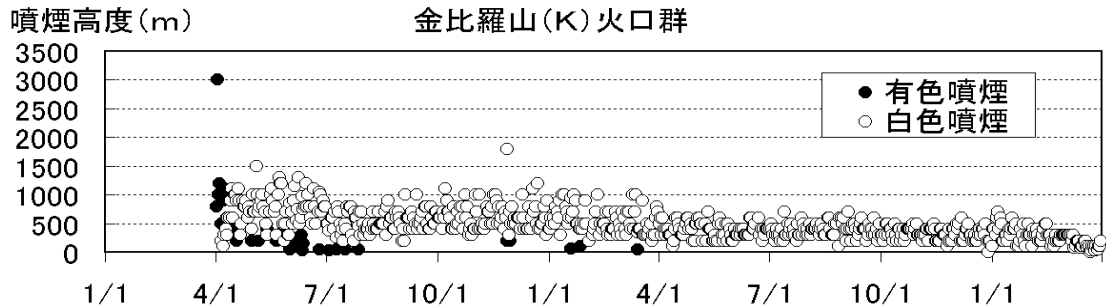
有珠山

1 概況

金比羅山および西山西麓火口群では、弱い噴煙活動と地熱活動が継続しています。

2 噴煙活動の状況

金比羅山火口群の K-B 火口の噴煙は昨年 12 月 23 日以降観測されていません。また、K-A 火口や西山西麓火口群の N-B 火口でも噴煙が少なくなり、3 月は概ね火口上 100m 以下で推移しました。山頂火口原、昭和新山では特別な変化はありません。



日最大噴煙高度 (2000 年 1 月 1 日 ~ 2002 年 3 月 31 日)

3 地熱活動の状況

3 月 23 日に実施した火口調査の結果は以下のとおりです。

【K B 火口】

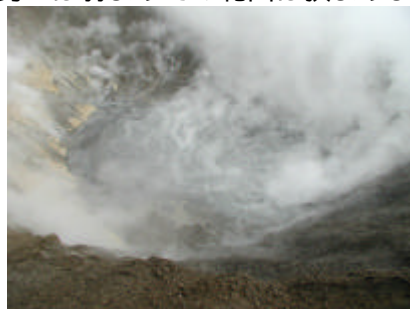
火口底は黄土色の水溜まりとなっており、噴煙は認められませんでした。

【K A 火口】

灰色の湯溜まり状態が続いていますが、昨年 12 月と比較して熱水湧出の勢いは弱まりその範囲は狭まりました。

【N B 火口】

火口底は灰色の湯溜まり状態となり、盛んに熱水を湧出していました。

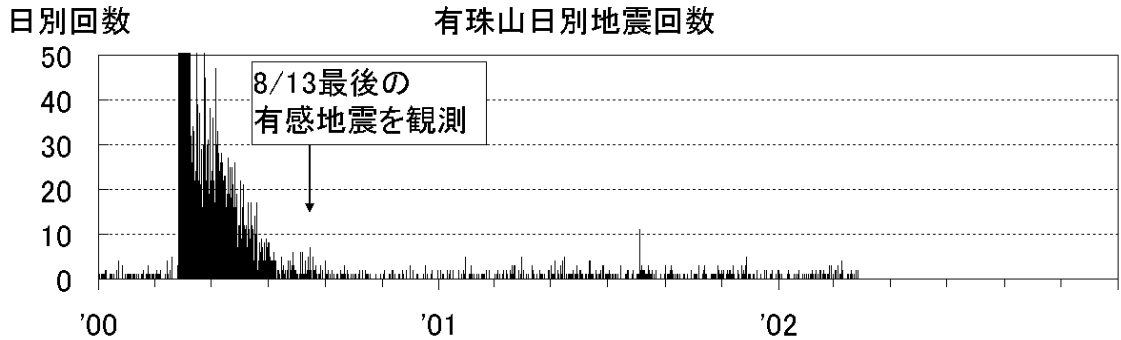


N-B 火口

上 : K-B 火口 下 : K-A 火口

4 地震活動の状況

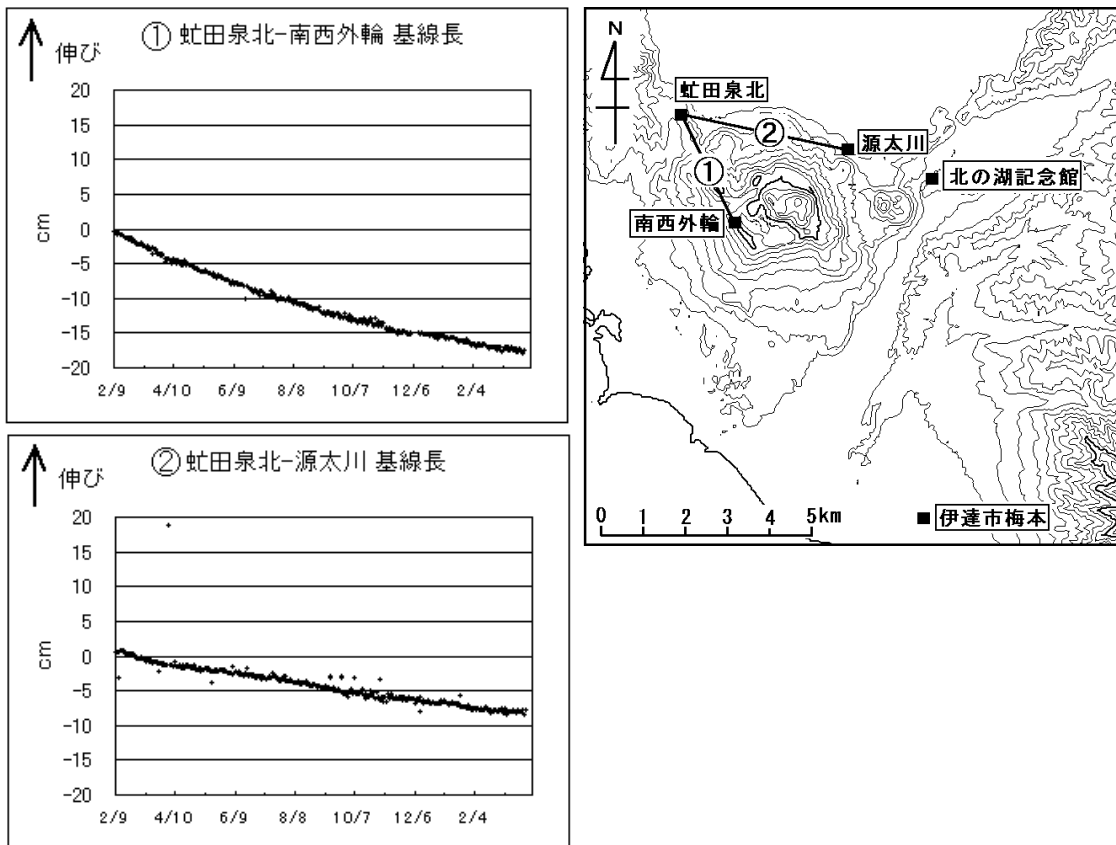
地震回数は1日あたり0~4回で推移しました。火山性微動および空振は昨年9月以降観測されていません。



有珠山日別地震回数 (2000年1月1日~2002年3月31日)

5 地殻変動の状況

GPS観測では、西山西麓を中心とするわずかな収縮が続いていますが、その傾向は鈍くなってきました。



有珠山基線長グラフ (2001年2月 日~2002年3月31日)

月別地震回数

平成 13~14 年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
A点 地震	23	40	37	22	42	24	29	38	18	16	27	27

A点：大有珠山頂の南約2km 計数基準：最大振幅0.30μm以上